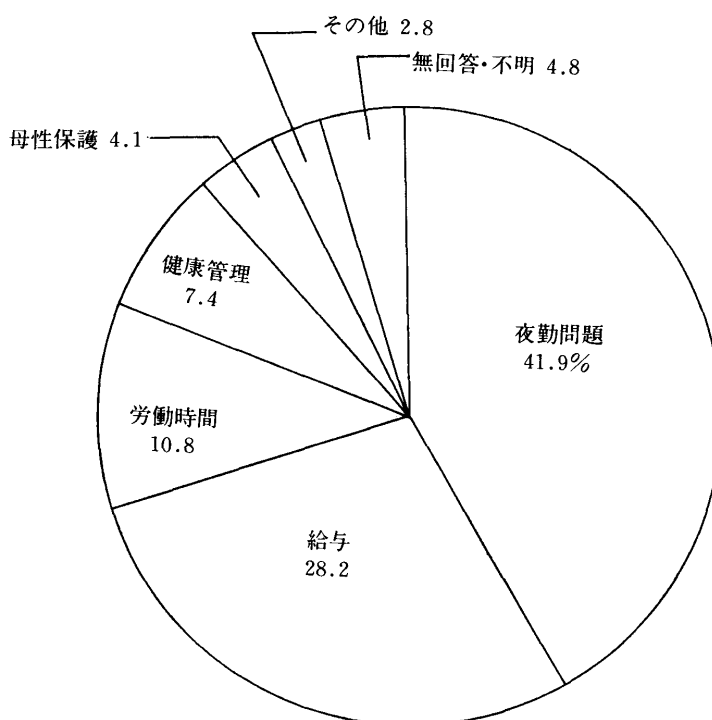


図44 処遇改善の中で最も切実な課題



業務改善の中で、「夜間看護体制の改善」を最重視課題にあげたのは、7.1%だったことをみると、夜勤の問題は、看護職員の処遇上の問題として強く意識されていることがわかった。

設置主体別にみると、特に「国立病院（厚生省）」と「国（労働福祉事業団）」では「夜勤問題」を選んだ看護部長が7割を超えた。また「医

療法人」「個人」の病院では、「夜勤問題」より「給与」を選んだ看護部長が多く、「給与」を選んだ看護部長の割合は4割を超えている（統計表211）。

病院の種類別にみると、「老人病院」では「給与」を切実な課題としてあげた看護部長が61.1%に達しているのが目立った（統計表212）。

XV 看護部長の属性

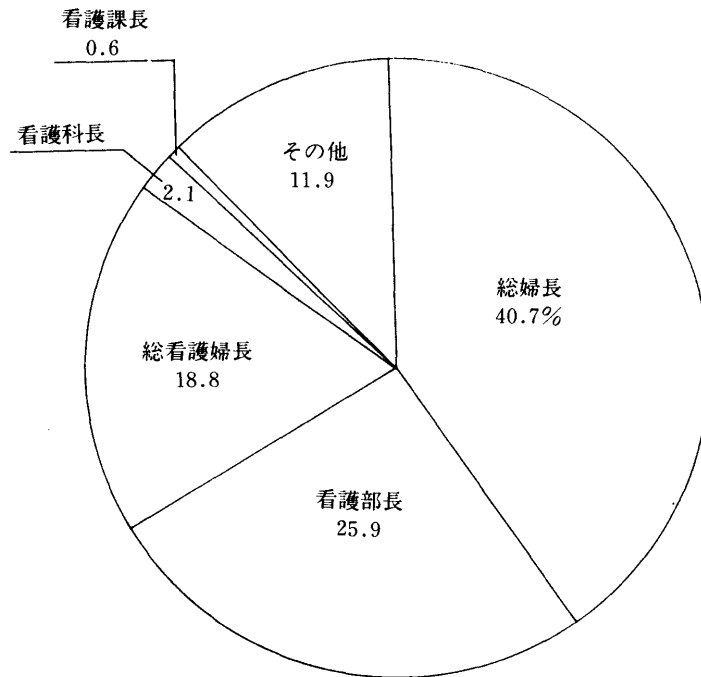
1 役職名

今回、回答を寄せた病院の中で、「看護部門の責任者は置かれていない」のは18病院（0.7%）であった。回答を寄せなかった病院、会員のいな

い病院では、この比率はもっとも高いことが推測される。

看護部門の長としての正式な役職名で最も多かったのは、「総婦長」であった（図45）。「国立」系は「看護部長」又は「総看護婦長」、「日赤」は

図45 看護部門の長としての正式な役職名



注：責任者をおいていない病院、回答者の役職名が不明の病院を除く

「看護部長」, 「全国社会保険団体連合会」「厚生団」は「総看護婦長」となっている。

許可病床数別にみると、規模が大きい病院ほど「看護部長」となっているところが多く「900床以上」では82.0%を占めた〈統計表215〉。「99床以下」の病院では病棟数が一つというところがあるため、「その他」の名称になっている病院が三分の一を占めた。その中の単一病棟の病院では、「婦長」となっているところも多い。

2 性別

看護部門の責任者が男性（看護師）である病院が11病院（0.4%）あり、うち10病院は「精神病院」であった〈統計表216〉。

3 年齢

看護部長の年齢は、「50歳代」が最も多く、平

表25 看護部長の年齢・経験年数

平均年齢	52.6歳
看護部長としての経験年数	7.6年
うち現病院での経験年数	5.3年

均で52.6歳であった〈表25〉〈統計表217〉。

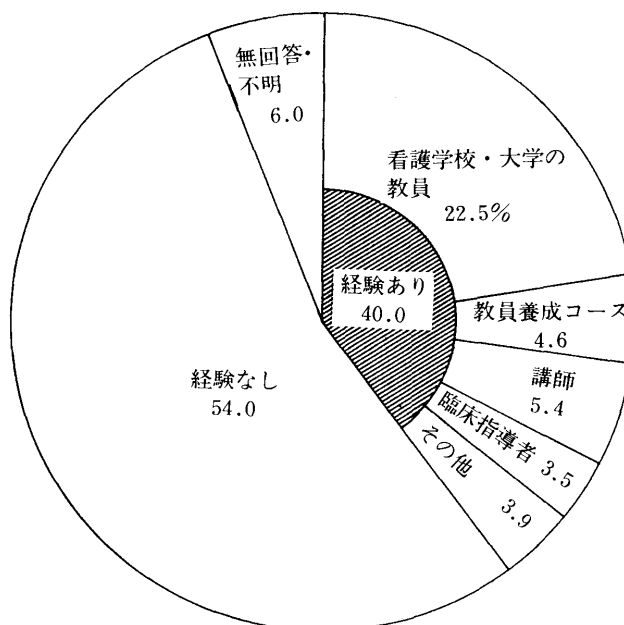
病床規模別にみると、大規模病院ほど平均年齢が高くなっている。「49歳以下」では平均48.3歳であるが「900床以上」では平均56.7歳であった〈統計表218〉。

4 看護部長としての経験年数

看護部長としての経験年数は平均で7.6年、現病院だけに限ると平均5.3年であった〈表25〉。

設置主体別にみると、「国立病院・療養所（厚生省）」は、現病院での看護部長としての平均経験年数が短い〈統計表220〉。

図46 看護部員の教員経験



注：看護部門の責任者をおいていない病院、回答者の役職名が不明の病院を除く

5 教員経験

現在の看護部長の22.5%は「看護学校・大学での教員経験がある」。学校教員の経験はないが「6か月以上の教員養成コースを修了した」人が4.6%、講師・臨床指導者などの経験者も含めると、何らかの教員経験のある看護部長は40.0%であった〈図46〉。看護学校・大学での教員の平均経験年数は8.5年である。

許可病床数別にみると、規模が大きいほど教員経験者の割合が増えている〈統計表221〉。

6 看護部長自身の管理者研修

看護部長就任前後に管理者としての研修を受けた人は79.4%であった。その内容をみると、最も多かったのが、「日本看護協会主催の管理者研修」(37.1%)、次に「厚生省病院管理研究所の管理者研修総婦長コース」(36.5%)であった〈表26〉。

表26 看護部自身が受けた管理者研修のコース (複数回答)

研修コース	受けた人の割合
看護管理者のみ対象のコース	
日本看護協会主催の管理者研修	37.1%
厚生省病院管理研究所の管理者研修総婦長コース	36.5
自治体による総婦長研修	26.8
民間業者の管理者研修	25.4
勤務の中で就任を前提に前任者の補佐という形で	19.7
上部組織の主催する総婦長研修	18.3
日本病院会の管理者研修	14.4
他病院総婦長室等での研修勤務	5.7
その他	6.2
管理者一般を対象としたコース	
上部組織の主催する管理者研修	26.3
民間業者の管理者研修	15.4
その他	2.6
回答者数*(2078人)	100.0

*管理者研修を受けた看護部長のうち有効回答者数

研修を受けた人だけみると、平均2～3のコースを受けている。

7 看護部長自身の施設外研修の必要性についての意識

看護部長の就任にあたって施設外研修が必要と

思うか聞いたところ、62.9%の看護部長が「是非必要だと思う」と答えた<図47>。「できればあった方が良く思う」という人も加えると、9割弱の看護部長が、就任時の施設外研修は必要なことだと考えている。

図47 看護部長就任にあたって施設外研修は必要か

